

## 前橋市市有施設個別施設計画（改訂案）に関するパブリックコメント実施結果

意見募集期間 令和6年10月7日（月）～令和6年11月5日（火）

意見提出者数 14人

意見の件数 18件

反映することとした意見 4件（No4、No10、No11、No12）

・いただいた意見について、市の考え方をお示ししています。

No.	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方
1	<p>方針全般</p> <p>前橋市公共施設等総合管理計画に記載された内容との整合性確保及び、第七次前橋市総合計画で掲げるビジョン「めぶく。～良いものが育つまち～」の実現にむけての観点より意見をさせていただきます。</p> <p>【意見1】市有施設の改修・建替・廃止の際には、市民及び地域ニーズを踏まえ、子育て支援施設や子ども食堂等の併設を検討し、より良い市有施設の維持管理・更新に向けた推進をお願いいたします。</p>	<p>前橋市市有施設個別施設計画の策定目的は3ページに記載のとおり、市有施設の情報や劣化状況等の分析により、計画的な維持管理・更新等を推進し、財政負担の軽減化、適切な行政サービスの提供を目指すこととしています。</p> <p>公共施設の改修・建替・廃止を行う際は、市民ニーズや地域の実情のみならず、市の施策や関連計画の位置づけ、社会情勢等を総合的に勘案し、着実に計画の推進を図ってまいります。</p>
2	<p>【意見2】P13「5 対策内容と実施時期・費用」に下記内容を踏まえた記載を要望致します。</p> <p>（4）2050ゼロカーボンシティまえばし実現に向けた市の率先垂範</p> <p>・当市では「2050ゼロカーボンシティまえばし」の実現に向け、「前橋市地球温暖化防止実行計画2021-2030 事務事業編」にてCO2排出削減目標2030年度▲31.8%（2013年度比）を掲げている。市有施設の改修時には、CO2排出量の削減を踏まえた整備計画を図る。</p> <p>・市有施設の新築・改修等を行う際には、高効率機器の導入やCO2排出係数の低い低炭素エネルギーへの転換による徹底した省エネルギー化を推進する。</p> <p>・令和4年3月15日公布の「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例において、一定規模（延床面積2,000m<sup>2</sup>）以上の建築物を新築・増改築する際には再生可能エネルギー設備等の導入が義務</p>	<p>現在も複数の公共施設等において、太陽光発電や小水力発電など再生可能エネルギーの設備を導入し、脱炭素化を推進しております。</p> <p>市有施設を効率的に運営するため、今後も個別施設の改修・更新等を行う際には、省エネルギー技術や再生可能エネルギー設備を導入し、電力のグリーン化を目指すなど、脱炭素化に配慮した施設整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>なお、今後は各施設の規模や役割などを踏まえて個別に整備方針やあり方等を決定するものと考えているため、現在の記載のとおりとさせていただきますので、ご理解をお願いします。</p>

No.	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方
	<p>付されたことから、屋根・防水や受変電設備の改修時には既存設備のみならず、再生可能エネルギー設備等の導入を考慮した計画を推進する。</p> <p>■理由</p> <p>貴市の掲げる「2050 ゼロカーボンシティまえばし」及び、2030年度の公共施設のCO2歳出削減目標を掲げた「前橋市地球温暖化防止実行計画2021-2030 事務事業編」の達成に向けた脱炭素、低炭素化推進を「前橋市市有施設個別施設計画」において記載することが必要だと考えます。また、群馬県が定めた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例においても、2,000m<sup>2</sup>以上の建築物の新築・増改築時には再生可能エネルギー設備等の導入が義務化されており、市有施設の改修時には再生可能エネルギー設備の導入も踏まえた検討が必要になると考えます。また、脱炭素化を実現するためには、様々な環境負荷低減の取り組みや配慮が必要であり、建物のエネルギー消費性能の向上に加え、エネルギー効率の高い機器の採用による省エネルギー化は極めて重要になります。</p>	
3	<p>【意見3】P13「5 対策内容と実施時期・費用」に下記内容を踏まえた記載を要望致します。</p> <p>(5) 市民が安心して避難できる避難所環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所指定施設となっている市有施設については、改修計画の際に避難者の方が安心して避難できる整備計画を図る。</li> <li>・避難所指定施設においては、避難者の方が安心して避難できるように停電対応型の空調機、コージェネレーションシステム等の自立・分散型電源の設置を推進する。</li> </ul> <p>■理由</p> <p>前橋市国土強靱化地域計画においては「災害時に電源を確保するため、エネルギー供給源の多様化を図れるよう、再生可能エネルギー・ガスコージェネレーション等のエネルギーや蓄電池等</p>	<p>公共施設マネジメントを推進していくうえで、災害時に市民や施設利用者が安心して避難できる環境の整備は、公共施設の役割として重要な要素と考えておりますので、前橋市国土強靱化地域計画や関連計画を踏まえ、防災性に配慮した施設整備を進めていきたいと考えております。</p> <p>なお、今後は各施設の規模や役割などを踏まえて個別に整備方針やあり方等を決定するものと考えているため、現在の記載のとおりとさせていただきますので、ご理解をお願いします。</p>

No.	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方
	<p>を活用した自立分散型エネルギーの導入の推進を図る」ことが記載されています。また、国土交通省からは「防災拠点等となる建築物にかかる機能継続ガイドライン※2」が示されており、公共施設においては、頻発する自然災害や大規模停電(例:2019年の台風15号の停電被害は93万件280時間に及んだ)に直面した際でも、空調や最低限の電源確保等、エネルギー供給が継続される強靱な施設であることは極めて重要です。また、平時からの空調等のエネルギー利用システムが、そのまま災害時においても機能することができれば、防災設備の過剰投資防止や迅速かつ的確な災害対応に資するものと考えます。空調システムの1つである「停電対応型GHP(ガスエンジンヒートポンプ)」は、バッテリーと発電機を搭載している為、災害等による停電時でも都市ガス供給が継続されれば冷暖房と照明等を使い続けることが可能です。都市ガスによる空調システムは、平時においても電力のピークカットに資するとともに、契約電力の低減や受電設備の軽減によるランニングコスト低減も期待できるものと考えます。</p>	
4	<p><b>【意見4】P530 施設の方向性(現状と課題)</b>に下記内容を踏まえた記載を要望致します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前橋水質浄化センター及び同一敷地内に設置されている六供し尿処理施設についても、水質浄化センターとの共同化による再整備を進めていくと共に、汚泥消化により発生する消化ガスの活用策や敷地を有効活用した再生可能エネルギー設備の導入等について積極的に検討を進めます。</li> </ul> <p>■理由</p> <p>前橋市地球温暖化防止実行計画 2021-2030で掲げるCO2排出量削減目標の達成に向けた取組として、水質浄化センターにおいて汚泥消化により発生する消化ガスの活用策や敷地を有効活用した再生可能エネルギー設備の導入等について積極的に検討をする旨が記載されてお</p>	<p><b>P532 下水道施設の「6 施設の方向性(現状と課題)(2)」</b>の記載内容を修正しました。</p>

No.	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方				
	<p>す。約 30 年間に及び長期改修計画であり、2050 年の脱炭素社会実現を見据えた整備が必要になると考えます。</p> <table border="1" data-bbox="252 427 828 752"> <tr> <td data-bbox="252 427 828 472">修正前</td> </tr> <tr> <td data-bbox="252 472 828 752">「(2)・・・。また、同一敷地内に設置されている六供し尿処理施設についても、水質浄化センターとの共同化による再整備を進めていきます。」</td> </tr> </table>	修正前	「(2)・・・。また、同一敷地内に設置されている六供し尿処理施設についても、水質浄化センターとの共同化による再整備を進めていきます。」	<p>左の意見に対する市の考え方</p> <table border="1" data-bbox="857 427 1433 752"> <tr> <td data-bbox="857 427 1433 472">修正後</td> </tr> <tr> <td data-bbox="857 472 1433 752">「(2)・・・。また、<u>前橋水質浄化センター及び同一敷地内に設置されている六供し尿処理施設の共同化による再整備を進めていくと共に、汚泥消化により発生する消化ガスの活用策や敷地を有効活用した再生可能エネルギー設備の導入等について検討を進めます。</u>」</td> </tr> </table>	修正後	「(2)・・・。また、 <u>前橋水質浄化センター及び同一敷地内に設置されている六供し尿処理施設の共同化による再整備を進めていくと共に、汚泥消化により発生する消化ガスの活用策や敷地を有効活用した再生可能エネルギー設備の導入等について検討を進めます。</u> 」
修正前						
「(2)・・・。また、同一敷地内に設置されている六供し尿処理施設についても、水質浄化センターとの共同化による再整備を進めていきます。」						
修正後						
「(2)・・・。また、 <u>前橋水質浄化センター及び同一敷地内に設置されている六供し尿処理施設の共同化による再整備を進めていくと共に、汚泥消化により発生する消化ガスの活用策や敷地を有効活用した再生可能エネルギー設備の導入等について検討を進めます。</u> 」						
5	<p>方針全般 施設の方向性（P54 文学館、P58 アーツ前橋）</p> <p>長期保全計画及び概算費用のとおり、これだけの施設を今後も維持し続けようとした場合、莫大な費用を要することがわかる。今後は少子高齢化の影響により大きな歳入の増加は見込めないことから、それぞれの施設の現状を把握し、施設の必要性を見極めていくことが重要だと考える。具体的には、アーツ前橋や文学館などの文化系施設はいずれも毎年 1 億円以上の管理運営費がかかっており、一般財源負担率も高い。スポーツ施設や公民館と比べて幅広い人が利用する施設ではなく、一部のコアな人が利用する施設であり、そのような施設こそ受益者の負担率を上げるべき。利用者数の増加を見込める展示会の模索や施設のあり方自体を検討すべき。</p>	<p>今後、少子高齢化による扶助費の増加が見込まれる一方で、施設の老朽化への維持補修費を大幅に確保することは難しい状況であることから、利用料収入が主たる歳入である芸術文化施設においては、利用者数の増加が見込める展示会や講座等の実施による利用料収入の確保を課題と捉えたうえで、市民ニーズや利用者ニーズを考慮し、維持管理・運営を行っていく必要があると考えております。</p>				
6	<p>方針全般</p> <p>公共施設に限らず、様々な施設において再生可能エネルギーの導入は進みつつあるが、コスト的に導入しやすい太陽光発電などに偏りが見られるのも事実であり、公共施設においてもコストを抑えることは重要な事項ではあるが、災害時やエネルギーミックスの観点など、広い視野で導入や活用を検討していただきたいと考える。</p>	<p>公共施設への再生可能エネルギーの導入については、太陽光発電のほか、まえばし赤城山小水力発電や東公民館の地中熱利用空調設備の設置など、施設の省エネルギー化を図っています。</p> <p>今後も個別施設の改修・更新等を行う際には、幅広い視点で省エネルギー化に向けた施設整備を進めてきたいと考えております。</p>				

No.	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方
7	<p>方針全般</p> <p>近年日本各地で自然災害による被害が発生していることから、前橋市においても、災害時に避難所等として公共施設を利用する際に、安全かつ衛生的な利用ができるよう、定期的な点検・整備を徹底してほしい。</p>	<p>市有施設の安全性の確保を図る取組として、「前橋市市有施設簡易点検マニュアル」により、平常の日常点検のほか、台風や大雪の災害発生前に行う警戒点検を実施しています。その中で発見された不具合については、劣化状況に応じて修繕等を実施するとともに、災害時には市民や施設利用者が安心して避難できるように、バリアフリー化を行うなど防災面に配慮した施設整備を進めていきたいと考えております。</p>
8	<p>方針全般</p> <p>長期保全計画をみると、多くの人が利用する公民館や支所だけでも多額の費用が掛かることがわかる。古い施設よりも新しい施設の方がキレイで使いやすいとは思いますが、その状態を維持するためにこれだけ多くの費用が掛かることを考えると使用料の徴収は然るべきことなのだと思います。大量の市有施設を維持管理していくためには、施設の数減らすことも今後は必要であると考えられるが、施設の廃止の際には施設の老朽化や利用者減だけを理由にするのではなく、地域性等も考慮して検討してほしい。</p>	<p>公共施設の総量縮減や集約化にあたっては、今後の地域ニーズや周辺施設との位置関係、交通条件等を全体的に把握・整理し、地元住民に理解を得ながら慎重に検討を進めていきたいと考えております。</p>
9	<p>P11 (3) 保全工事の修繕優先度</p> <p>保全工事の修繕優先度の算定式の記載があるが、この優先度の算定において、より利用者数が多かったり、職員だけでなく市民も使うような施設の方が、高い施設重要度、高いリスク優先度が算定されるような仕組みになっているのか。なっていないのであれば、ぜひ反映されるような算定式をご検討いただきたい。</p>	<p>P11 (3) 修繕優先度判定式の施設重要度Qについては、災害対策本部や前橋市業務継続計画（地震編）のある施設、不特定多数利用のある施設などから、3つの重要度（用途Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）に区分して、災害時に必要性の高い施設や利用者が多い施設などが重要度が高い施設として配点が高くなる算定式となっております。</p>
10	<p>P13 5 (3) 長期保全計画のローリング</p> <p>専門用語を多用するのは仕方ないと思いますが、できるだけわかりやすい文言を使用してもらいたいです。P.13 「ローリング」って回転ですか？辞書によると「船や航空機の横揺れ」の意があります。「改定」などに言い換えでき</p>	<p>P13 5 (3) 長期保全計画のローリングは、長期保全計画を定期点検による劣化状況や修繕等の実施により、随時見直しを行うという意味ですので、「見直し」に修正します。</p>

No.	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方				
	<p>ませんか。</p> <table border="1" data-bbox="253 333 828 479"> <tr> <td data-bbox="253 333 828 383">修正前</td> </tr> <tr> <td data-bbox="253 383 828 479">(3) 長期保全計画の<u>ローリング</u></td> </tr> </table>	修正前	(3) 長期保全計画の <u>ローリング</u>	<table border="1" data-bbox="858 333 1433 479"> <tr> <td data-bbox="858 333 1433 383">修正後</td> </tr> <tr> <td data-bbox="858 383 1433 479">(3) 長期保全計画の<u>見直し</u></td> </tr> </table>	修正後	(3) 長期保全計画の <u>見直し</u>
修正前						
(3) 長期保全計画の <u>ローリング</u>						
修正後						
(3) 長期保全計画の <u>見直し</u>						
1 1	<p><b>P398</b> 老人福祉施設の 6 施設の方向性（現状と課題）</p> <p>同種類の施設なのに場所によって年齢で使用料に差があるのは不自然です。その地区だけ優遇されているのでしょうか。見直しの予定はありますか。</p> <p><b>P398</b> 6 (3)「本市住民で6 5 歳以上（ふじみは6 0 歳以上）の方の使用料は無料です。」</p> <table border="1" data-bbox="253 907 828 1142"> <tr> <td data-bbox="253 907 828 956">修正前</td> </tr> <tr> <td data-bbox="253 956 828 1142">「(3)・・・。</td> </tr> </table>	修正前	「(3)・・・。	<p><b>P400</b> 老人福祉施設の「6 施設の方向性（現状と課題）(3)」の記載内容を修正しました。</p> <table border="1" data-bbox="858 907 1433 1142"> <tr> <td data-bbox="858 907 1433 956">修正後</td> </tr> <tr> <td data-bbox="858 956 1433 1142">「(3)・・・。<u>なお、ふじみは平成2 1 年の市町村合併時の使用料の特例により、無料となる年齢に違いが生じていますが、今後統一する方向で検討します。</u>」</td> </tr> </table>	修正後	「(3)・・・。 <u>なお、ふじみは平成2 1 年の市町村合併時の使用料の特例により、無料となる年齢に違いが生じていますが、今後統一する方向で検討します。</u> 」
修正前						
「(3)・・・。						
修正後						
「(3)・・・。 <u>なお、ふじみは平成2 1 年の市町村合併時の使用料の特例により、無料となる年齢に違いが生じていますが、今後統一する方向で検討します。</u> 」						
1 2	<p><b>P537</b> 旧広瀬中学校の写真</p> <p>写真については最新のものを掲載したほうが良いと思います。</p> <p><b>P.537</b> 「旧広瀬中学校」→写真に写っている北校舎と渡り廊下はすでに解体されています。現存している南校舎の写真はないのでしょうか？思い出として残すなら話は別ですが。</p> <table border="1" data-bbox="253 1538 828 1684"> <tr> <td data-bbox="253 1538 828 1588">修正前</td> </tr> <tr> <td data-bbox="253 1588 828 1684">旧広瀬中学校の<u>北校舎及び渡り廊下の写真</u></td> </tr> </table>	修正前	旧広瀬中学校の <u>北校舎及び渡り廊下の写真</u>	<p><b>P539</b> 旧広瀬中学校の写真を修正しました。</p> <table border="1" data-bbox="858 1538 1433 1684"> <tr> <td data-bbox="858 1538 1433 1588">修正後</td> </tr> <tr> <td data-bbox="858 1588 1433 1684">旧広瀬中学校の<u>南校舎の写真</u></td> </tr> </table>	修正後	旧広瀬中学校の <u>南校舎の写真</u>
修正前						
旧広瀬中学校の <u>北校舎及び渡り廊下の写真</u>						
修正後						
旧広瀬中学校の <u>南校舎の写真</u>						
1 3	<p>方針全般</p> <p>市有施設には、学校や市営住宅など様々な用途の施設がある中で、客観的な指標を使って修繕優先度を判定している取り組みはとてもよい取り組みだと思います。一方で、施設を保有していくとコストはかかり続けますし、時代の変化によって利用者が減ってしまっている施設も課</p>	<p>前橋市の資産活用推進の方針である「長寿命化の推進」、「保有総量の縮減」、「効率的利活用の推進」を市民に周知しながら、個別具体的な施設のあり方検討の際は、地域住民や施設利用者に十分な説明を行うとともに、理解を得ながら丁寧に検討を進めていきたいと考えております。</p>				

No.	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方
	<p>題としてあると思います。</p> <p>施設の廃止や集約など個別の話になると、検討がうまく進まないこともあるかもしれませんが、まずは市有施設全体の状況と方向性を広く市民に周知しながら、個別施設の具体的な検討を進めていったらよいと思います。</p>	
1 4	<p>方針全般</p> <p>前橋市にはたくさんの公共施設があり、施設を維持するために多くの費用（税金）がかかっていることがわかりました。子供の関係で学校やスポーツ施設をよく利用しますが、老朽化しているトイレなどを改善してほしいと思う反面、特定の方だけが使用する施設や利用者が極端に少ない施設に税金をかけることに疑問も感じます。そういった施設は、保全だけでなく施設の方向性の中で集約する方法も検討いただきたいと思っています。</p> <p>今回から空気調和設備を主要部位に加えたがあります。ここ数年の猛暑・酷暑の環境において、公共施設は有事の際の避難所としても活用されるため、積極的に保全を進める部位として改訂することはよい取り組みだと思っています。</p>	<p>老朽化している施設については、安全で安心して利用できるように、今回主要部位に加えた空気調和設備を含めて、適正に保全を図りたいと考えております。その中で、機能の重複や利用率の低い施設などは、市民ニーズを把握し、あり方の検討を進めていきたいと考えております。</p>
1 5	<p>P11 (3) 保全工事の修繕優先度</p> <p>公共施設の劣化度を法定点検や経過年数で判定しているようだが、実際の劣化の度合いは現場で確認を行い、利用者に危険がないように適切に保全してもらいたい。</p>	<p>市有施設の安全性を確保する取り組みとして、施設所管による一斉点検で不具合のあった部位について、技術職員の現地調査により劣化状況や安全性などを確認し、修繕優先度を決定する「予防保全計画推進プログラム」を実施しています。今後もこの取組により、施設の適正な保全を図っていきたいと考えています。</p>
1 6	<p>P15～P545 第3章各施設の長期保全計画</p> <p>長期保全計画に今後の保全費用が出ているが、2030年までに予定している工事費が何十億円、何百億円というレベルで掛かるといふ施設群もあり、市税の収入も少なくなっている状況でこんなに多くの予算を実行できるのか疑</p>	<p>各個別施設の「9 長期保全計画及び概算費用」は、あくまでも主要7部位の改修周期及び改修単価に基づき、現状の建物をその計画年まで維持した場合に想定される概算費用を示したものです。実際の改修・更新に掛かる費用は、今後</p>

No.	パブリックコメントによる意見	左の意見に対する市の考え方
	問である。実行性のある計画としてもらいたい。	の経済情勢の影響により大きく増減することが予想されます。また、改修時期については施設の劣化状況による優先順位付け、財政負担の平準化を考慮し決定しますが、必要な工事を先送りすることが無いように計画的に進めたいと考えております。
17	<p><b>P15～P545 第3章各施設の「6 施設の方向性」</b></p> <p>この個別施設計画には、各施設の設置目的や事業内容が細かく書かれていて、前橋市にはこんなにも色々な種類の施設があるのだなと思いました。その中で、施設の方向性の部分には、施設が持っている現状や課題が書かれていますが、この課題を載せているだけで形骸化させることのないように、課題解決を進めていただくことをお願いしたいと思います。</p>	<p>各施設の情報把握は、施設のあり方や方向性の決定にあたり重要な要素と考えており、施設の現状や課題を把握するための施設評価調書を毎年更新し、課題の整理に活用しています。</p> <p>今後も、施設の最新情報を的確に把握し、利用頻度の高い施設はより効率的な運営を、そうでない施設は有効活用に向けた検討を継続的に進めたいと考えております。</p>
18	<p><b>方針全般</b></p> <p>施設の廃止や使用料の見直し（上げる方への）を進めるような風潮がありますが、公共施設は市民の福祉目的に設置されている面もあり、効率性や利用者の数だけで廃止や料金を見直すものではないはずです。</p> <p>若い世代にこれからの負担をすべて背負わせるつもりはありませんが、高齢者の居場所や生きがいの場となっている公共施設があることも考えてください。</p>	<p>各施設の方向性については、今後、公共施設の役割と利用者負担のあり方を明確にしつつ、施設使用料等で賄うべき維持管理費や施設の特性などを踏まえて施設のあり方の検討を進めていきたいと考えております。その際には、市民や利用者ニーズを把握し、市民生活への影響を十分に検証したうえで、市民や利用者理解を得ながら慎重に検討していきたいと考えております。</p>